



グローバル交流セミナー・サマーセミナー

赤城合宿研修



実施日:平成29年9月29日～30日
実施場所:国立赤城青少年交流の家 (群馬県前橋市)

1. 概要

GFLサマーセミナーでは、1年生と他学年が初めて顔を合わせる場であり、BBQなどの行事を通じて他学年との親睦を深めた。また、留学や海外情勢に関する講演も開かれ、留学を見据える私達にとって得るものの多い合宿であった。

2. 活動内容

9/29

(1) サマーセミナーガイダンス/GFL2017ガイダンス/留学体験発表

本格的な活動を行う前に、GFLに関わる教職員や2年生の紹介、さらに今回のプログラムの説明があった。その後、1年生の中から行事などのリーダーを決め、その間上級生は留学体験者の発表を聞いた。

(2) 学部・学科別ガイダンス

学部ごとにそれぞれの研修室で自己紹介を行い、今後の予定について話し合いが行われた。社会情報学部では、今後社会情報学部が担当する行事の担当者をそれぞれ1年生から選んだ。

(3) 若手研究者講演会1 (図2)

群馬大学大学院医学系研究科1年でシリア人留学生であるアブダラ・ムシャティさんより講演をいただいた。アブダラさんは群馬大学大学院で勉強しようと思いつまでの経緯を彼の経験したことを交えながら話してくださり、シリアが独立をめぐる紛争状態であったときのお話やその中で彼の弟が誘拐されてしまったときのお話などとても刺激的で心が痛む内容が印象的だった。

(4) 特別講演会 (図3)

アメリカのアダムス州立大学教授のTracy Doyle先生とJames Doyle先生より講演をいただいた。お二人は世界で活躍するにあたってチャレンジし続け、己の視野を広げていく必要性や世界各地で演奏を行った際の体験談などを話してくださった。後半部では、実際に演奏をしていただきすばらしい音色が講堂に響き渡った。目だけでなく耳にも残る講演だった。

9/30

(5) 若手研究者講演会2 (図4)

群馬大学社会情報学部4年の大谷晃平さんより1年間の台湾留学の経験について講演をいただいた。4年生になってから留学を決めた理由、留学先で得たこと、学んだことなど今後留学を考える上で大変ためになるお話だった。

(6) バーベキューを通じた交流会

2日間最後の行事としてバーベキューが行われた。学部、学科関係なく8人程度のグループに分かれ、各グループの中で分担を決め、共同作業を通して交流を深めた。



図1: サマーセミナー初日の赤城青少年交流の家の様子

日時	行程
9月29日	
9:40	赤城青少年交流の家到着
10:00~10:30	入所オリエンテーション
10:30~11:20	サマーセミナーガイダンス
11:20~12:00	GFL2017ガイダンス/留学体験発表
12:00~13:00	昼食
13:00~14:00	学部・学科別ガイダンス
14:15~15:00	若手研究者講演会1
15:15~16:15	マナー講座&ディーキン大学短期留学説明
17:30~	夕食
19:00~20:30	特別講演会
20:30~22:00	学生自主活動
23:00~	就寝
9月30日	
6:00	起床
7:20	朝食
9:00~9:20	海外ボランティア活動報告
9:20~10:05	若手研究者講演会2
10:50~13:30	BBQを通じた交流会
14:00~14:20	集合写真撮影→退所

表1: スケジュール



図2: 若手研究者講演会1



図3: 特別講演会の演奏披露



図4: 若手研究者講演会2



図5: 集合写真

3. 総括・謝辞

今回、サマーセミナーに参加したことで学部や学年の垣根を越えて多くの人々と親睦を深めることができただけでなく、今後世界を舞台に活躍することが求められるGFL生としてより一層気を引き締めることができた。

最後にお忙しい中、サマーセミナーに向け、準備をしていただいた先生方、事務職員の皆様、講演をしていただいた皆様や場所を提供して下さった赤城青少年交流の家のスタッフの皆様に感謝申し上げます。本当にありがとうございました。